



たくましく ゆたかに 大地を吹く 風になれ

# simba 獅子波

ナイロビ日本人学校

The Nairobi Japanese School

P.O. Box 948 -00502 Karen Nairobi Kenya

Tel : 0746 - 978 - 378

E-mail : njs.main@gmail.com

2025年度 10月号

No. 6

子どもの成長が見られた前期、保護者の皆様に感謝

校長

令和7年度前期が9月で終わり、10月から後期がスタートします。前期をふり振り返り、児童生徒の生きる力が、それぞれのペースで伸びてきていると感じています。特に、創立55周年記念運動会の全児童生徒での「ソーラン節」は感動するものでした。それぞれのリーダーが一人一人に寄り添ってリードする姿、それに応え精一杯力を出し切ってフォローする児童生徒の姿が多く見られました。きっと各ご家庭でも、児童生徒は一生懸命練習に励んでいたと思われます。児童生徒が全力を出し切って踊る姿は、思わず涙が込み上げてくるほどの素晴らしい演技でした。このことは、本校が掲げている「ONE TEAM」で、児童生徒と保護者、教職員が同じ方向を向き、前に進んでいるからこそできたことだと思っています。教職員は学校で児童生徒を、保護者の皆様は各ご家庭で我が子にしっかりと寄り添い励ましている証だと感じることができました。

また、小学部6年生と中学部2年生の修学旅行では、普段の学校生活以上に児童生徒の成長を実感できることが幾つもあり、とても頼もしく感じました。教員が児童生徒を2つのグループに分け、目標をもち、助け合って、思いやりをもち、共に喜びを感じ「ONE TEAM」となるように指導したことは、児童生徒と教職員が一体となった素晴らしい光景でした。特に、悪天候のために幾度となく予定を変更しなければならい状況下でも、児童生徒が臨機応変に対応し、全てにおいてポジティブシンキングの精神で、笑顔いっぱいに行動できていたことから、ナイロビ日本人学校の児童生徒一人一人への教育の成果が感じられました。児童生徒全員が、最高に満足できた修学旅行だったと思っています。

さて、10月1日からは後期スタートとなりますが、ここ最近をふり振り返ると、学校施設の老朽化による停電や火災、トイレの汚水管の破裂、井戸水がなくなったの断水、スクールバス（20年目の026バスと、30年目の09バス）の老朽化による度重なる故障など、様々なことがある中で、児童生徒と教職員は臨機応変に学校生活を楽しんでいこうという様子が覗かれ、とても頼もしく感じています。また、保護者の皆様が「ONE TEAM」となり、児童生徒の給食体験のために、とてもとても美味しいカレーと卵スープを、一意団結して料理するなど、児童生徒のために頑張る姿を見られたことも嬉しいことの一つでした。このように、日々、本校の教育活動に対してご理解ご協力をいただいていることに、心から感謝申し上げます。

後期においても前期同様に、児童生徒がこのナイロビ日本人学校に対して「自信と誇り」をもてるよう、また、よりグローバルな人間として育つよう、温かい励ましの言葉をお願い申し上げます。私たち教職員は、全児童生徒のために、さらにONE TEAMとなって励んでいく所存です。10月から始まる後期も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 持久走記録会の感想

体育担当

9月3日（水）に、持久走記録会を行いました。今年度は小1～小4までは5分間、小5・6年は8分間、中学部は10分間の時間走に取り組みました。子どもたちはこの日に向け、朝練習や体育の授業の中で練習に励んできました。当日は、保護者の皆様の応援もあり、練習の成果を発揮することができました。以下は子どもたちの感想です。



朝の時間の練習の様子

- 私は、持久走を振り返ってみて、最初は走るペースが速かったり、遅かったりしていたけれど、練習を重ねていくごとに段々と自分のペースが分かるようになりました。また、去年と比べると記録が伸びたと思います。そして、持久走で得たことをこれからの生活で生かしていきたいです。

（中3）

- 長距離走を始めた頃は、いつも疲れてきついていたと思っていました。でも今回は、ネガティブに考えるのではなく、走ることを楽しもうと思っていました。実際に走っている時は、きつくても「楽に走れる」ことを考えていました。この長距離走を通して、物事をポジティブに捉えるようになりました。高校生になっても持久走を頑張ります。

（中3）

- 持久走記録会を振り返ってみて、僕は今までの練習の成果を精一杯出せたのではないかと思います。持久走記録会で特に印象に残っていることとしては最後本気で走ったことです。ラスト3分という中で、僕は最後の力を振り絞って走りました。そして個人記録を更新することができました。中学最後の持久走記録会でしたが、高校につなげてもっと運動ができるような人になりたいと思っています。

（中3）

- 私は持久走で880m走りました。私の目ひょうは900mでした。目ひょうはこえられなかったけれど、楽しく走れました。

（小3）

- ぼくが持久走でがんばったことは、「3分から本気を出す」ということです。なぜかという、前の練習では、2分から本気を出して走り切れなかったのが、こうしました。そして、目ひょうはの1000メートルをこせたので、うれしかったです。

（3年）

- 前の記録を、1mだけでもいいから越えようと頑張りました。そうしたら100mぐらい記録をのばせました。持久走の感想は、人と比べなくていいんだなと思いました。自分は、持久走が好きでよく友だちとくらべてしまっていたけど、友だちとくらべないんだと気づきました。

(3年)

- わたしの持久走の感そうは、いちばんさいしょよりもはやくなっていて、自分のペースで走れるようになっていてうれしいし、いちばんさいしょのときよりももっと走れるようになったからがんばったと思います。

(3年)

- じきゅう走きろく会でがんばったことは6しゅうを目標にして、いつもよりはよいペースでさいごまで走りきったことです。はやすぎてもあとからばてるし、おそすぎても体力があまるので、ちょうどいいペースを見つけるのが大変でした。

(3年)

子どもたちの感想を読むと、前向きに頑張った様子が見て取れました。活動を通して、大きく成長してくれたことを大変うれしく思います。



今回の取組では、一人一人に記録証を配付しました。また、「自分のペースを見付けること」をめあてとしていたので、事前に申告した距離に近かった児童生徒を表彰しました。さらに、はじめの記録と、記録会の記録を比べ、最も距離が伸びたチームの表彰も行いました。記録証や表彰状をもらった子どもたちは、嬉しそうな顔を浮かべていました。

長距離走が得意な子も、またそうでない子も、それぞれのがんばりがあったと思います。自分の目標に向かって、精一杯がんばる姿に心を動かされました。今後も、子どもたちが楽しみながら運動に取り組めるよう支援をしてまいります。たくさんのご声援、ありがとうございました。





# 問いを立てる力

ナイロビ日本人学校 研究担当

考えるということは、問いを解決しようとすることです。私たちは何かを考え始めるのは、そこに問いがあるからです。人は問いと対峙した時に考え始め、問いや自分と往還的に対話しているのです。（「ここから始まる国語教室」より）

私がここ数年大事だと思っている力の一つが「問いを立てる力」です。上の言葉からも問いを立てることができなければ考えることは始まらないとも言えます。普段私たちは何気なく「考える」ということをやっています。日常の中でも「考えなさい!」とよく様々な場面で聞こえてきます。誰しもこの言葉を使ったことがあるのではないのでしょうか。しかし、「考える」ということを理解し意識をもって行動している人は少ないように思います。では「考える力」とは一体どうしたら身に付くのでしょうか。

「考える」ということは、学習と同じで鍛えなければできないことだと考えています。例えば、「書く力」は、文章の構成を学んだり、とにかく量を書いたり、条件を設けて書いたり、同じ語彙を使わずに書いたり、毎日継続して書いたり、様々な練習をこなすからこそ伸びていきます。「考える力」も同じだと考えます。毎日「問い」を理解しようと意識し、書き留めたり、声に出したり、友だちと共有したりして「問い」を立てることで、物事に対しきちんと立ち止まって考えることができます。様々な事件が起きた時にいつもその行動に出る前に「どうして今の私が考えていることはいいことか」と問いをもつことができなかったのだろうかと思います。日常生活や仕事の中でも後悔することがたくさんあります。どうしてあの時……人生はこの連続だと思っています。ただ普段から問いを立て考えることを鍛えていたらもっとよりよい問いを立てることができ人生をより豊かにすることができると思います。



だからこそ、子どもたちには、「問いを立てる力」＝「考える力」を身につけさせたいと強く思っています。

先日、修学旅行に行ってきました、その中で子どもたちは「時間を意識して行動できるか」「班長としてどのような行動をとるべきか」「自分の意見を伝えるにはどうしたらいいか」など子どもたち一人一人が問いを立てながら行動しようとしていました。だからこそ毎日の振り返りの時間には自分が考えたことに対して真剣に振り返りを行うことができました。問いを立て真剣に行動すると成長するのだなと心から感じました。

現在ナイロビ日本人学校の先生とともに協力し「問いを立て考える力」や「ふりかえり自覚する力」を意識した授業づくりを目指しています。子どもたちが無意識に立てている問いや、意識的に立てた問いなどを価値付けし、しっかりと振り返り自覚させ、また新たなよりよい問いを立てられるように一緒に考えていきます。

# 10月の行事予定

日にち	内容
1日(水)	後期始業式
2日(木)	児童生徒会
3日(金)	英語検定2回目(1次)
4日(土)	親子スポーツ
10日(金)	Mazingira Day(公休日)
13日(月)	学習発表会に向けての特別日課開始
16日(木)	PTA役員会・学校運営委員会
20日(月)	Mashujaa Day(公休日)
23日(木)	特別清掃
25日(土)	学習発表会
27日(月)	振替休業日
30日(木)	後期ジャリブ オリエンテーション
31日(金)	校長講話&懇談会

